
闇を照らしてくれた人達

火華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

闇を照らしてくれた人達

【Nコード】

N0359I

【作者名】

火華

【あらすじ】

これはうちの体験したことをかいているので意味不明なところもありますがよろしく願います。

く1く 登校

- 貴方は、誰かを信じる事が -

- 出来ますか？ -

- たたえ裏切られたとしても -

- 信じる事が出来ますか？ -

うちは石塚^{いしづか}琴乃^{ことの}中学一年生。

今日から雄物川中学校に通う事

になったんだ♪

この時は楽しい学校生活おくれ
ると思っていた。

そう、あの時までは……「琴乃いい加減に起きなさい」

ばあちゃんが襖を開けてうちの

部屋に入ってきた。

「はい」

うちは仕方なく起きて制服に

着替えてからリビングに行って

ご飯を食べてから玄関に向かっ

た。

靴を履き終え

「行つてきまーす」

外に出て自転車に乗った。

登校していると声が聞こえてきた。

「ことちゃんおはよう」この子は石塚真里弥（いしづか

まりや）うちの一番の友達。

「おはよう！」

真里弥は幼稚園からずっと一緒

で、一人だったうちの初めての

友達になった女の子」

それ以来うちらは二人で登校

したり、遊んだりしていた。

真里弥と話しながら登校すると

いつもあつとゆうまに学校に着

着いてしまう。

クラスが違うから、ちょっと寂しいけどね……

まあそこは気合いで何とかしてます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0359i/>

闇を照らしてくれた人達

2010年10月28日05時26分発行